

令和3年度 第11回高島町新庁舎建設検討委員会 会議録

【日 時】 令和4年2月25日（金） 15時25分～17時05分

【場 所】 高島町役場3階 第1委員会室

【出席者】（委員）宮原博通委員、白石信也委員、斎藤洋子委員、後藤昭委員、我妻里奈委員、
西方茂太委員、増田陽子委員、渋谷保委員
（町）企画財政課長、企画財政課長補佐、新庁舎建設推進室長、新庁舎建設推進室技師補、
公共事業整備専門員
（久米設計） 管理技術者、担当技術者4名

【傍聴者】 なし

【会議録】

1. 開会 15時25分

司会（事務局）による開会

本日、所用により平委員欠席となります。また、久米設計さんより同席いただいております。

2. 委員長あいさつ

ご多用の中、大変お疲れさまです。この委員会も11回と随分回を重ねてきたなと思う。当初の敷地から変更になり、その中で久米設計さんにも色々創意工夫をしてもらい納まってきたのかなと思う。その辺をまたご説明いただきながら、皆さまから忌憚のない意見をいただきたいと思う。よろしく願いしたい。

3. 報告事項

- ・12/13、17 基本設計各課ヒアリング 資料No.1
- ・1/13～14 新庁舎 ZEB 化先進地視察（神奈川県開成町、横浜市） 資料No.2
（事務局）

基本設計各課ヒアリング、新庁舎 ZEB 化先進地視察の報告

報告事項に対する質疑

（全委員）

質疑なし。

4. 議事

（1）基本設計平面計画について

（委員長）

基本設計平面計画について説明をお願いします。

（事務局）

前回からの変更点や各課ヒアリングの要望等を受けた形での平面計画となっているので、久米設計担当者より説明をしていただく。

（久米設計）

色が付いた配置図の方から前回との変更点を説明します。濃いピンク色が既存の建物を示している。薄いピンク色が今回計画する建物となっており、丸Aと書いてある新庁舎と隣にある付属棟、丸Bというのが新築する建物になっている。更に17番倉庫とあるのは、既存の倉庫をこちらの方へ曳家する形で検討をしている。前回からお示した配置図の変更点は、南北道路の線形が決まったので、建物が前回より少し西側に移動している。広場空間を確保して南東の庁舎駐車場26台と36台の西側付属棟Bの脇の2か所に分けた計画になっている。

次に1階から3階までの主要な平面図になります。ゾーニングは前回と同様となっている。ピンク色の部分のどまホール、緑色の部分の研修室が南側配置としたレイアウトとなっている。青色の部分の執務室として1階2階にあって、3階が紫色で表示した議場というような構成になっている。

左上に記載しているが文書量も同時に計画している。現在約1,600ファイルメーター確保しており、ヒアリング等で文書量の確保が必要だということで、前回よりも文書の収納量を大きくした形で計画している。

それではヒアリングについて変更内容の詳細を説明します。1階平面図です。南側の公民館機能部分ですが、研修室1、2が前回西側に配置していたが東側に配置した。これは採光の確保のために入れ替えている。また、中央にあった風除室を左側に寄せてクランクするような形にしている。受付が冬季の風の通り道となってしまうので、クランクさせることで直接、窓口に当たらないような計画に変更している。

続いて執務室ですが、前はコの字の計画としていたが、机のレイアウトを直線上に修正している。直線上にすることで連携のし易さを図られる計画となっている。また、執務室東側にWEBブースと書いてあるが、オープンな廊下空間に家具で囲まれたWEB会議や打ち合わせが出来るようなスペースの要望があった。今はテレビ会議等もあるので、そういったことに対応できるような空間を用意したと修正となっている。

書庫、倉庫についても中央の更衣室にシンメトリーな形で配置をし、文書量を確保する計画となっている。また、北側中央にあった風除室を2から3の柱通りに寄せるなどの修正をしている。

2階の修正点について、大きく変わったところは教育長室と庁議室のレイアウトを変更している。前回までは執務室の北側の窓がない形で連携を高めるため配置していたが、窓のあるゾーンに再レイアウトした。庁議室は有事の際に外部の状況確認が必要だとの意見もあり、東側の採光の当たる場所に移動した。また、1階にも配置したWEBブースのコーナーを南側に設けている。当初、この位置には相談室を配置していたが、執務室の北側の連携し易い場所に1、2階共通で相談ゾーンを設けるというような修正をしている。

続いて3階の変更点については、前回まで委員会室を北側に配置していたものを南東角に配置した。こちらは議員控室からもドアで行き来が出来ることと採光を配慮して入れ替えを行った。また、休憩室は北側に確保してその南側に十分な量の文書庫を配置した。

議場については前回まで柱を6.4mの2スパンで計画していたが、傍聴席や議場のレイアウトなどヒアリングを実施した中で広さが必要だということが分かったので、一部柱を抜いて2.5スパンくらいに修正をした。また、議場の東側に図書室とあるが、こちらは本を置くだけではなく、予算委員会などで職員が待機する場所が必要だということで、図書室としているが会議室としても使えたり待機スペースとしても使えるような多目的に利用できるスペースとして検討している。こういったスペースを議場と隣接して配置しているところが前回からの修正した状況になる。

平面の修正点は他にもあるが、主なところの報告となる。他に次の図面は屋上の平面でR 1階、R 2階というところで、太陽光パネルを計画している。自立型の太陽光パネルとR 2階は議場の屋根の上に計画することで合わせて約60KWの太陽光パネルで設計を進めている。

最後に外観イメージのパスをご覧ください。こちらはまだ検討中のパスになるが、外観コンセプトとしては、①まほろばの原風景に調和するセットバックした形状ということで、南側と東側に道路もあり、こちらから北西に向かって段々に計画することで周辺の建物、周辺の風景に馴染むような形、圧迫感を与えないような計画としている。また、そのセットバックした形状を強調させるように北西面については壁柱のデザインとしている。

一方、段々となっている南東面については、②柱と庇が出たデザインで二面を変えることでセットバックした形状を強調していくデザインとなっている。また、③水平ラインにより各階を分節し、圧迫感のないデザインをしていく。④庇や単窓により、採光を確保しながら環境負荷の制御を行っていくデザインとしている。

⑤今回、木の利用を検討しているが、建物はRC造で計画しているのでコンクリートの型枠に町産杉板材を使うことで、木の雰囲気を出していくというような検討をしている。最後に⑥のどまホールが南側に突出しているような形である。町の象徴となるように今後も継続して検討していく。以上が各課ヒアリングからの変更点の説明です。

(委員長)

ありがとうございました。それでは今説明いただいたプランについて、皆さまから質問、意見を伺いたいと思う。

(委員)

委員の中には専門外の方もいらっしゃる。この平面図の中で略文字が使われているが、その説明をしていただきたい。

(久米設計)

WCと書いてあるのはトイレで、括弧書きのMは男性、Wは女性としている。公民館機能中央部と西側トイレのHWCは多目的トイレで1階は2箇所、各階に1箇所ずつ計画している。また、トイレ内のSKとは掃除のときのモップ等を洗うところで、各トイレに1箇所つけている。PSというのは設備の配管スペースのことで、北東部の階段付近にEPSとあるのは電気の配管スペースになる。西側階段のところにあるEVとはエレベーターで、1階と2階の更衣室にあるUSとはユニットシャワーのこと。こちらも各課ヒアリングで要望があったため、設けたもの。

(委員)

続いてよいか。執務室と更衣室の職員一人当たりの占有面積はどのくらいか。

(久米設計)

平面計画は動いているので、後日、改めて計算してご提示させていただく。

(委員長)

他にないか。

(委員)

この建物の東面は段差があり冬場に雪が溜まると思うが、その処理はどのように考えているか。

(久米設計)

陸屋根、フラットルーフという真っすぐな屋根を想定している。勾配をかけないパラペットという立ち上がりがある平たい屋根の形になる。雪は建物の上に乗せるという考えで無落雪にしている。

(委員長)

その時の設計としての積雪深としてはどのくらい見込んでいるのか。パラペットとの高さの関係もあると思うが。

(久米設計)

一部スラブを下げようとしているので、パラペットは基準80cmを想定している。一部スラブが下がる部分はもう少し高さを確保できると思う。雪の荷重としては2m積もっても大丈夫なように構造計算をしている。

(委員長)

雪も風向きによっては舞ってくると、降雪量だけではなくて風によって運ばれてくる。吹き溜まり的に風が回り込むと結構積もる。風向きを考慮するといってもその年によっても随分違うため、その辺が気になるところと思っている。

真上から降るだけではなくて風で運ばれてくるという、それが結構溜まってパラペットを超えたときに落下するとか、そういうことの心配がでてくる。風向きというのも検討していただきたい。

(委員)

屋根の話が出てきたので関連してセットバックしているところが4～5mあると思うが、そのうち壁際から2.4mのデッキ、その外側に幅3mの植栽ということで2階、3階、4階とあるが、どのような植栽をイメージしているか。コンクールなどで設計をやるときに非常に緑豊かとか格好はいいのだが、実際にそれを毎年維持管理していくということは、膨大な経費が掛かる。幅3m延べ200mを超える。植栽の種類にもよるが、例えば芝生にしても雑草抜き、それから手入れ、そういった維持管理が膨大に掛かると思うが、考えをお聞きしたい。

(久米設計)

屋上の緑化については、低木とか高木など雪囲いが必要なものは計画していない。そういったメンテナンス費用が必要ない植栽を考えている。寒冷地で雪などに配慮されるような植栽、厚いというよりは薄い地被類とか芝等で検討していきたい。外構をみても雪囲いしているので、そういったものが不必要のように計画していきたい。ただ今回、先ほど説明したようにセットバックした形で、どうしても通常の防水というか普通の陸屋根にしてしまうと、その面が執務室から見えるので何とか雪のメンテナンスが掛からない形で緑化をしていきたいと考えている。

(委員)

緑化をするということについては、そういう考え方だということで、私の考え方からすると全面的にプランが変わってくるので言わないが、この植栽の部分に当然土を入れると思うが、建物も偏心しているのでつり合いを取るため東側と南側に重量物を上げたのかと思うが、平面の偏心荷重を避けるための工夫の一環として作られたものか。

(久米設計)

荷重のための屋上緑化でない。それがなくても構造は成立する形となっている。

(事務局)

屋上緑化は、まだ検討中で正式決定ではない。ZEB認証の話もしましたが、環境性能を図るうえで緑

化も必要ではないかと提案を受けているところである。

デッキは何としても作りたいと思っている。この委員会でも展望スペースの意見をいただいているのでデッキの方は進めていきたいと考えている。

(委員)

デッキついて、具体的にどういうものか。普通に考えるとウッドデッキのイメージだが違うものか。

(久米設計)

デッキの仕様は人工木デッキを考えている。通常の木ではなく樹脂を混ぜたような耐久性が強いもので、公共施設でよく使われているものを考えている。地場産木利用もあるので、地場産材と樹脂を混ぜた材料が出来ないか検討している。

(委員長)

1階南側中央の6通りにある多目的室のスペックはどういう内容か。

(久米設計)

多目的室については、平面右下に流し台を配置し、北側にベビーベッドとベビーチェアを設置し授乳やおむつ替えに対応できるようにしている。一番左には多目的シートというベッドのようなもので高齢者も使用できるようにしている。

(委員長)

ありがとうございます。もう1点、役場としてのシステムの話だが、書庫のスペースは全体的に結構な面積だが、これからの時代文書もデータ化していく必要があると思うが、そのシステムの検討は役場としてどうか。

(事務局)

当然これからはそういった形になってくると思うが、一気になかなかできない。役所としては紙ベースの資料も必要なのでゼロにはならない。今、取り組んでいるのは文書管理システムを見直している。現在ドッチファイルで対応していて棚に置いているが、年度当初に置いてしまうと年間使うスペースも含めて必要になってくるので、実際に棚を占有する割には使っていないスペースがあり棚だけが実態である。更に管理も個人管理なので同じ文書を同じ課の中で複数持っていて、実際はよく見ないような1冊あれば十分なものも事実で、どこの職場もそうなっている。AKFという新しい公文書の管理方法で専用のファイルで一つひとつにして、ドッチファイルは止めようとしている。試験的に総務課と企画財政課で行っている。今試行中なので見ていただくと分かるが、企画財政課の壁面に大きな棚があるが、整理すると半分以下になっている。さらに減るので大体6割はカットできるのではと思っている。これを来年、再来年と全庁に入れて、それを新庁舎に引越するよう作業を進めている。大分削減されるので、電子化についても検討していく。

(委員長)

このスペースは半分になるのではないかと思います。ありがとうございました。

(委員)

執務室は、設計の段階では現状の人数で配置割をしたのか。

(事務局)

現状の人数でしている。

(委員)

将来的には職員数は減ってくると思うが、2階の執務室は窮屈な感じがする。職員が椅子に座って50 cmくらいか、机が60 cmの120 cmで職員の手荷物とか、私の職場にも居たが机の下に段ボールがどんどん積み重なってくる。本当に図面に書いたように綺麗な状態で仕事が出来ればいいが、現実的にはかなり難しいと思う。もう少し執務室にゆとりが取れないのかと思う。

それから更衣室についても同じで、単純にスケールであたってみたところ、一人当たり0.3㎡しかない。0.3㎡では立って動けない。使用する人数は一概にはいないと思うが、それにしても更衣するスペース、着替えをするスペースもあるようだが非常に狭いと思った。

それからもう一つ、今、冬期間だが職員は北東角から入ってくると思う。吹雪の時に長靴を履いてきて庁内に入る際、執務室では履き替えると思うが、濡れた雨傘や長靴のまま、女性職員は2階まで上がっていく設計なのか。玄関先に緩衝スペースが必要ではないかと個人的には思う。

(委員長)

実際に入口で履物を履き替えるとか、傘を置くにも天候への配慮というか必要に思えるが、どうか。

(久米設計)

執務室のレイアウトは、6.4 mスパン、島単位だと3.2 mになっていて、机と机の間が1.8 mのスペースとなっている。弊社が設計している庁舎は、こちらを主に採用している。1.8 mあるので、人が座った状態で通路として十分な幅を確保できるものとして、この執務室の寸法を決めている。

更衣室については、ロッカーとの間は1 mの間隔を取っている。当然広くすればスペースとしてはゆとり取れるが、なるべく効率的に且つ執務室のスペースも確保したい関係で、そういった寸法で設計をしているところである。

長靴置場については、男子更衣室北側の斜め線で表示してあるところが長靴置場となっている。更衣室のロッカーとは別に長靴スペースを別に設けている更衣室の計画となっている。

冬季の雪等については、風除室の外部に足洗い場を設けるか、風除室をタイル張り等で雪を落として入ってきて更衣室に長靴を置くというような、米沢市と同様な計画としたいと考えている。2階の女子更衣室も同じような考えで検討している。

(事務局)

以前も申し上げたと思うが、執務室の部分が一番苦慮するところ。開成町の例でもあったように職員の意識改革が一番大変なところ。今も役場を見ていただくと分かるが、自分の机を囲むような形で色んな書類を積んでいるが、それを止めようと思っている。ようはフリーアドレスにしたい。年度末に組織が変われば机の配置を変えて、電話配線やLANケーブルの張替に100万円くらい掛けてしているが、全くの無駄なのでそれを止める。机は固定で職員の手持ちはキャビネットひとつ。今の机の横にある三段のスペースが個人の物入に考えている。それ以外は共用。文房具も今は個人で持っているが、それも共用スペースでフロアに2箇所くらいおいて、そこで管理するそういった流れになっている。そういったことを解決すれば広々と清潔に執務できると思う。そこが一番大変なところである。

(委員長)

机のサイズは配置上、60 cmの120 cmでよかったのか。奥行60 cmで大丈夫か。

(事務局)

自席の机を測ってみたが、奥行は75 cmで図面のスケールアップで60 cmなので、15 cm奥行きが無くなる。今はパソコンを使っただけの仕事なので、実際後ろの部分は使わないのが現状。ただ、何らかの作業を

するには狭いような感じはするが、米沢市も同じ奥行60cmのタイプで狭いという意見などは聞こえてこなかった。今使っている机より奥行きはないが、米沢市の職員からは苦労しているといった声は聞かれなかった。

(委員長)

奥に何もなければいいが、席に座って20cmくらいの被りを取ると正面の人とかなり近くなるのではないか。ローパーティションはあるのか。

(久米設計)

ローパーティションは無い。

(委員長)

いくら何でも近すぎるのではないか。

(久米設計)

寸法としては70cmあって、真ん中に10cmずつ配線スペースがある。70cm×2+通路幅1.8mで3.2mとしている。

(委員長)

140cmだと両側で40cm取ったとして1mくらいの所に正面の人がいる感じになるのではないか。執務空間は役場の方が快適に仕事してもらうために申し上げるが、普通のオフィス計画ではないと思う。スペックによって久米さんも設計をしているでしょうが、ちょっと辛いと思う。

(久米設計)

最近はどここのオフィスも導入されているが、120cmの60cmや70cmをくっつけて6～8人の島を形成するのではなくて、大型天板デスクといって予め6～8人用の大きいテーブルで真ん中に配線ケーブルを取り出せるカバーがあって、どちらかという将来的なフリーアドレスオフィスを見越した考え方になる。キャビネットにはキャスターが付いていて、そのまま移動できる。特別このタイプが奥行きが少ないかというところではなくて、最近ノートパソコンが普及していることもあって、こういったタイプのデスクが普及している背景はある。当然、課長が言われたように物を置かないというのが理想ではある。

(事務局)

席数を表示したいので、横に線を入れていて真正面な感じになっているが、ずれていて大丈夫ようになっていたのでご理解いただきたい。

(委員長)

対面だったら私が職員なら嫌だと思う。フリーアドレスの考え方は承知している。そういう形でやっていくというスタイルが絵として見えてくればいいのだが、たまたまこの絵で一人ひとりのスペースに線を入れてあって机の集合体となっていれば問題に感じてしまうところである。

(委員)

各自のパソコンは有線でつなぐ予定か。

(事務局)

有線と無線で考えている。全館無線LANで対応できるようにしたい。

(事務局)

実施したいのだが、整備費が掛かる。あとはセキュリティの問題。横浜市はお金があるので実施してい

て庁舎内どこに行っても使える。セキュリティもしっかりしていて印刷でもプレゼンでも使える。そこまで出来ればいいのだが。

(委員)

基本的なことでお尋ねしたい。セットバックというのは階段状のことを言うのか。セットバックした形状と先ほどから言われているが、分からないので教えて欲しい。

あと、ヒアリングをして割り振りしたと思うが、私は自分が来庁した時に障がい者だったら使い易いかなという目で見えてきて、今回のようにどまホールの近くにトイレを移動してもらってよかったと思っているが、働く仲間としての障がい者、実際には車椅子で働いている職員はいないが、今後そういった方が出てきた場合にこのスペースでは大丈夫なのか、机の配置がしっかり入ってきていて先ほどから狭くないかという話があるように、その辺の意見が職員から出たのかどうかお聞きしたい。

(久米設計)

セットバックというのは段々になっているという意味。高島町は小さな山があるので、そういったイメージで建物を段々にしていくことをセットバックと呼んでいる。

執務室内の障がい者の方の話はヒアリングでは特に意見は出なかった。

(事務局)

各課ヒアリングではそういった意見は出なかったが、全館バリアフリーとなっていて執務室内のデスクも脚がないタイプなので、車椅子の方でも中に入って仕事ができるようになっている。

(委員)

車椅子で高さの問題とか出てくると思うのだが、今後、そういうのが視点のどこかにあるのかなと気になったところである。

これに加えて、職員の方たちが色々と譲ってくれて職員駐車場は道を挟んで向こう側からやってくるような配置になっているが、障がいを持った人が雪道でそこを歩いてくるが職員入口は北側にしかないとなれば大丈夫なのかと気になったところで、そういった視点も持っていただきたい。私たち来庁者は屋根も付けていただけてすごく良いのだが。

(事務局)

来庁者の方は南側と西側に入口があるのでそこを使っていただくが、万一、車椅子の職員がいる場合は、入口に近いところ、例えば道路を渡らなくても済むような西側のスペースだとか、そういった場所に駐車させてもらう形になると思う。

(委員)

西側駐車場は北側からしか入れないのか。

(事務局)

西側からも入れる。老人福祉センターの入口があるので、そこから入ることになる。前回の検討委員会でも話をしたように将来は西側からの構内通路が通れば東西南北からの通行が可能となるが、開庁時はこの入口からしか出入できないのではないかと思う。

(委員)

駐車スペースの1台あたりの大きさはどのくらいか。正面には26台あるようだが。

(久米設計)

駐車場について2.5m×5mの基準としている。一部優先と書いてあるところはスペースが少し大き

くなっている。あと、障がい者用についても大きくなっている。

(委員)

都会ではそうなっているが、幅が狭い。両サイドから人が降りられない。それから序舎に来られる方々は年配の方も高齢化しがちでドアを全開にしないと降りられない。そういうところに少し余裕を持っていただきたい。まして冬期間は線で描いたような止め方は絶対できない。対面で駐車したときに真ん中5mくらいしか間隔がないので、よほど運転に慣れていないと5mでは曲がれない。

(委員長)

私も駐車スペースのことで申し上げようと思っていたが同感である。2.5mは無雪期でギリギリだと思う。一般的な設計は2.5m×5mの12.5㎡でそれがミニマムだと思うのだが、こちらでは2.8mとか取らないと厳しいと思う。雪のあるときに実際に車を置いてある状態を測るとそれぐらいになっている。5mでも背中合わせだとギリギリだし、雪を考えたもう少し離すと5.5mでもいいかもしれない。

(久米設計)

雪の時は間隔が空くが、米沢市でも冬期間は白線が見えなくなる。白線どおりに止められなくてもしようがないとなった。

(委員長)

スペースとして実際に車を止めると、ギリギリのつもりで止めていても白線が見えなくても、それを測れば2.5mでは収まっていない。2.8mくらいは必要と思う。

(久米設計)

台数がどれくらいになるか2.8mで割り付けてみる。

(委員長)

一般のスケールではいかないなと思っている。

(久米設計)

幅については台数を減らせば対応可能。奥行の方がそれぞれ均一に50cmずつとなると配置全体のバランスもあるので検討させていただきたい。幅が広がれば旋回するのも楽になるので幅方向で対応できればと思うので改めて検討をしてみる。

(委員長)

色々辛い部分もあると思うが、積雪期ベースでスペースを考えていただきたい。

(委員)

障がい者用駐車場が南側に3台あるが、柱の位置を注意していただきたい。米沢市の北側の障がい者用駐車場を見たのだが、柱が多すぎて利用者が使いにくいという声を聞いたことがある。障がい者の方だと杖の方や車いすユーザーの方もいる。基本的にドアを全開するので開口の余裕とその外側に利用者があるので、多分、米沢市のスペースでは狭いと思う。あと柱を一台分ずつ区切っていたような建て方だったので、そういう仕組みでない方がいいなと思っている。

(久米設計)

米沢市役所の時は北側の駐車場は、図面でいうところの角に柱があるような形になっており、お金を掛ければ柱を抜かすこともできたのだが、コストの関係で既製品を使用したというのもある。この地域の積雪荷重のこともあり、屋根の角に柱がある方が強度が出るということで計画した。

今回は正面の目立つようなところに計画するというので、既製品というよりは柱を奥の方にして片持ち形式で雪を支えられないかと考えている。角には柱は設けないが雪が2mと荷重を考慮しないとイケないので、構造的には強度を出さなければならない。その中で出来る限り努力したいと思う。

(委員長)

他にご意見ないか。

(委員)

ヒアリングの回答を見せてもらい、事細かく対応していただいてありがたいと思っている。予算的なことになるが本当に賄えているのか。以前の会議で要望を聞いていた時に、どこまで対応できるか分からないということもあって、先ほどの全館無線 LAN など予算的に厳しいという声も聞いてどこまで譲歩してできるのか、最低限どこまでできるものなのか予算的にはギリギリではないかと気になったのでお聞きしたい。

(久米設計)

コストについては、ヒアリングでまとめたものを積み上げていくような形で概算をこれから算出する。現段階では上なのか下なのかはお答えできない。基本設計概算を出した時点で町と協議させていただいて出来る出来ないの判断をしておくことになる。

(委員)

分かりました。これから無くなるということもあるのか。ここまで意見出したが出来ないということもあり得るということか。

(事務局)

久米さんからも心配をさせていただいている。皆さんご存じのとおり色々な資材が高騰している。また戦争なども始まってどうなるか分からないが、久米さんから以前にいただいた資料を見ると設計を発注した時から鋼材で1.5倍など大分コストは上がってくるが、その割に人件費は伸びていないのでトータル的にはどうなるか。ただ、コストは高くなる。あとは財政的にどこまで許せるか、それはこれからになる。今日も色々な話をしているが色々なメニューを使って補助金を申請しながら歳入の財源を確保してやりたいと思っている。そこもこれからで、具体的には一番お金が掛かるのは設備などになるので、どういった補助金が見えるのか検討しながら出来る限りいいものをお願いしている。

(委員長)

本当に建設資材が高騰しているので心配である。他にないか。

(委員)

議場のイメージとしては今の段階でよいので、どのようなイメージで考えているか。

(久米設計)

天井の高さは確保しようと考えている。あと太陽光パネルをR2階の平面図に記載しているが、屋根を太陽光パネルにしている北側から採光が取れるので、そういった自然光を取り入れた議場を作りたいと思っている。あとは木の利用を現段階では考えている。

(委員)

地元の高畠石というものがあるが、その使用というのは考えているか。

(久米設計)

内装であれば使えると思う。どまホールといった部分とか議場でいえば背面の自立壁に地場産材を使う

ケースが多い。そういったところで検討は出来るものと考えている。

(委員長)

防災に絡んで、3階の7～8通りの中間にある備蓄倉庫だが町として防災用品のリストを作って、それが設計の方にスペックとしていって、この中で収まるか検討になると思うが、防災用品のリストというものはあるのか。

(事務局)

総務課の危機管理室の方で備品台帳を作成している。ただ、3階に備蓄倉庫と書いてあるところに全部入るわけではなくて、曳家する外部の防災倉庫と内部に置いておくものを危機管理室で判断して、それぞれに備蓄するような形になると思う。

(事務局)

内部で使うような備蓄庫として考えてもらうとよい。

(委員長)

実際に防災のことを考えると、本当はどまホールの近くにあるのが望ましいのだが、別棟でといっても自然災害の時など、どまホールに近いところにあるというのが理想だと思う。

(事務局)

配置図を見ていただくと曳家を計画している従来の倉庫が防災倉庫になる。補助金の関係で壊せないこともあるが近くに曳いて再利用する。

(委員長)

分かりました。他にないか。

(委員)

防災倉庫はこの位置になるか未定とお聞きしたが、西側の駐車場に行くときに死角が多いと思うのだが、あまり運転が上手な方ばかりではないと思うので、見通しがいいのか気になった。また、正面の入口付近はガラス張りになっているが、最近、オートマ車だとアクセルとブレーキの踏み間違いで突っ込む事故が多いので、輪止めとか車止めを正面に置くのかお聞きしたい。

もう一点、太陽光パネルを上げると聞きしたが、冬場の積雪があったときでも十分に発電できるのか教えていただきたい。

(事務局)

駐車場に関しては輪止めや車止めは設置する予定である。詳細については今後検討していく。また、西側駐車場については、消防無線のアンテナは無くなる予定で、受水槽、オイルタンク、駐輪場、障がい者用駐車場を設置し他は駐車場として考えている。

すぐには出来ないが太陽の家や水道中央管理室を整理し、老人福祉センターの移転改築も含めて西側一帯を将来的には整備したいと考えている。

(委員)

南側から西側に抜ける通路はどうなったのか。

(事務局)

今の計画では通り抜けの通路は無くしている。前日も見通しが悪いとか狭いのではとの意見もあり、通り抜けできないようにしている。

(久米設計)

太陽光パネルですが、自立型で下に架台があるものを想定している。約1.5～2mの架台の上にパネルを乗せるような形になる。あと、議場の屋根も床面からの距離を取るような計画をしているので、冬期でも雪が落ちるようなタイプで考えている。

(事務局)

病院のタイプが自立型で、直張りで議場の屋根に張るのが図書館のタイプとなる。

(委員)

1階平面の吹き抜けの部分に東側に向かって階段があるが、階段の下に記載台が設けてある。階段を上り下りする人から見えてしまう。フードを付けた記載台を設けるかは分からないが、そういった配慮が必要ではないか。それからその階段を上がって2階に行くと吹き抜けの手摺がある。その手摺から眺めると1階待合の椅子が被っている。無いとは思いますが上からの落下物とかも想定されるので、図面に書くときは中に収めるとか何らかの方法を考慮する必要があると思う。

(久米設計)

ご指摘ありがとうございます。今後検討していく。

(委員)

デッキについて、高畠に住んでいて眺めるところがないので楽しみにしている。子供を連れて是非上がってみたいと思っているが、どこまで出られるのか。デッキの所だけか、それとも区切られているのか。砂利の所まで出ていけるのか。

(久米設計)

デッキまでと考えている。詳細はまだこれからになるが、植栽の間には多少の立ち上がりを設けるし、場合によっては手摺などを設ける。手摺がなくても目の前が吹き抜けとかにはなっていないので、米沢市では忍び返しという絶対落ちてはいけない手摺を設けたが、今回は前面に植栽があるのでそこまでの手摺は必要ないと考えている。庇の下がデッキになっていて、そこを歩けるようなイメージになる。

(委員長)

他になければ大体よろしいか。事務局と久米設計さんからは補足などないか。

(委員)

デッキの出入口は1箇所しかないが、何か理由はあるのか。

(久米設計)

セキュリティ上、1箇所になっている。

(委員)

どの程度、人がデッキに出入りするかわからないが1箇所だけの出入口では非常に危ないのではないか。

(久米設計)

有事があったときに建物内に戻るときということですね。

(委員)

セキュリティ上とはいうものの、エレベーター脇の1箇所だけではどうなのかと思う。

(久米設計)

扉を付けるということもある。デッキが南から東へと長いので、人が行ける範囲を絞るとかはある。もちろん町長室の所まで人が行けるのはどうかと思うので、制限を設けたほうが扉をいっぱい付けるよりは良いのではと考えている。

(委員長)

9通りのD～E間のところだとラウンジ的に合うかなと思う。ここに付ければこの空間の両端で避難上もいいのかという気がする。ご検討いただきたい。

スケジュール的には配布された資料の最後に工程表が付いているが、これで進んでいくことに特に問題ないか。

(事務局)

令和3年度から8年度までの年次計画を示している。横欄の一番左から令和3年度、縦欄に実施項目を記載している。令和4年度は、解体工事・敷地造成を行い、設計は実施設計を一年かけて行う。令和5～6年に庁舎の建設工事ということで2箇年かけて行っていく。令和7年5月開庁予定で、その後、現庁舎の解体、令和8年度に中央公民館の解体、北側エリアの外構工事ということで進めたいと考えている。

それに合わせて町産木材の調達業務を予定している。今年度は来年度からの伐採に向け、準備業務を委託している。米沢地方森林組合と契約を結び、地元の製材業者との調整を図って来年度から円滑に進められるようにと準備をしているところである。

あとZEB事業ですが、久米設計さんもZEBプランナーの登録をしており、設計とは別にZEB認証の検証や申請などがあるので別契約で発注をしていて、令和4年度も継続して進める。その後建設工事に入っていく。以上が令和8年度までの年次計画になる。

(委員長)

ありがとうございました。これについて皆さんから何かあるか。

今日も皆さんから様々な意見をいただき、久米設計さんには敷地変更から庁舎内のヒアリングの結果を取り込んでいただいたり、色々ご苦勞があろうかと思うがこのスケジュールで進んでいくように、どうぞよろしくお願いいたします。

(委員)

一つ、久米設計さんにお願ひがある。当初予定から用地変更になってこういう原案が出てきた。町民の方々から質問されて役場に聞いてくれと言ったのだが、どういうふうな建物ができるのだろうかとか時間的に間に合うのかとか、いろんな考えを持っている方がいる。

基本プランが固まってきたところで、この庁舎は役場機能と公民館機能の融合した施設だということをは是非、一般の町民の方たちが理解できるような平面図というより、どういうふうなイメージか、特に役場機能と公民館機能の融合したような建物ということで、どまホールを中心としたパースをご提示していただきたいと思う。

用地問題で頓挫してしまい、その前にマスコミで流れたもので、それがだめになった後の結果が出ていない。是非、そういうところのイメージ図としてでも良いので、興味を持っている町民の方たちが沢山いるため、よろしく協力をお願いしたい。

(委員長)

ありがとうございます。その辺の経緯とこれからのビジョンは町が示さなくてはならない。そのために必要なイメージなどは、町からのオーダーで久米さんにも備え対応していただくように町からのお願いになると思う。

(事務局)

ただいまの意見について、業務委託の中にそういった項目があり、基本設計をまとめていただいて、そ

れを町のホームページで広く公開する予定でいる。まだまとまっていないので、次回、最後の検討委員会以降に町民の方々への開示となるので、よろしくお願ひしたい。

(委員長)

よろしくお願ひします。今の委員の意見は重要なことだと思ひるので、是非、町民の方々が新庁舎に興味を持っていただき、そしてどまホールにしろ、これから作られる公共施設というのは町民の方々がかうりに思ひ施設という存在でないといけなひし、そういうことでコミュニケーションは大事だと思ひ。

それでは大体意見が出たところで、検討委員会を閉じたいと思ひ。

(2) その他

特になし。

5. その他

(事務局)

3月31日をもって皆さまの任期が切れるということで、3月28～30日までのいずれかで開催したいと考へているが、開催日と時間のご都合はいかかがか。開催日を決めていただきたい。

- ・3月29日(火) 15時30分～ 会場は案内で通知する

6. 閉会 17時05分